



北海道公立大学法人
札幌医科大学
Sapporo Medical University

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY INFORMATION AND KNOWLEDGE REPOSITORY

Title 論文題目	ICUにおけるBGMの患者・看護師への影響に対する看護師の実感
Author(s) 著者	合田, 恵理香
Degree number 学位記番号	第87号
Degree name 学位の種別	修士(看護学)
Issue Date 学位取得年月日	2015-03-31
Original Article 原著論文	
Doc URL	
DOI	
Resource Version	

修士論文の内容の要旨

保健医療学研究科 博士課程前期 看護学専攻 修士論文(コース) 成人健康看護学分野	学籍番号 13MN02 氏名 合田恵理香
論文題名(日本語) ICUにおけるBGMの患者・看護師への影響に対する看護師の実感	
論文題名(英語) Feelings of nurses related to the effects of BGM on patients and nurses in the ICU	
<p>【研究目的】 Intensive care unit (以下ICUとする)は日常とかけ離れた環境であるため患者や看護師のストレスは大きい。施設によってはリラクゼーションなどを目的にICU内でBGMを実施しているが、BGMの効果を看護師がどのように認知しているかに関する研究は十分ではない。そこで本研究では①看護師からみた患者に対するBGMの影響、②看護師がBGMを流すことで感じた自身への影響、について明らかにすることを目的とした。</p> <p>【研究方法】 研究デザインは質的記述的研究である。 2014年7月～9月に日常的にBGMを実施しているICUに勤務する看護師10名に対し、インタビューガイドを用いて半構造化面接を行った。面接ではBGMが流れていてよかったと感じたときと流さない方がよいと感じたときを、看護師からみた患者、家族、看護師の3つの視点で質問をした。逐語録にしたデータは意味内容で区切り、類似した内容についてサブカテゴリー及びカテゴリーを生成した。</p> <p>【研究結果および考察】 看護師からみた患者へのBGMの影響として【患者に対するBGMの好影響】【患者に対するBGMの効果への葛藤】の2カテゴリー、看護師へのBGMの影響として【患者へのBGMが看護師に及ぼす好影響】【BGMに対する不快ではない感覚】【BGMの存在に対する気にならなさ】【患者の反応から芽生えるBGMの効果への期待】の4カテゴリーが抽出された。また家族へのBGMの影響として【BGMによる患者の反応がもたらす家族の希望】【家族を感じるBGMへの不快感】【BGMによって引き出される家族-看護師間のやりとり】の3カテゴリーが抽出された。さらにこれらのカテゴリー以外に、【BGMによって引き出される患者-看護師間のやりとり】【BGMの実施方法】が抽出された。 看護師からみた患者へのBGMの影響として、看護師は患者の反応から、BGMがストレス緩</p>	

和や脳刺激、また日常性の回復や生活リズムを整えるための支援として有効であると実感していることが示唆された。BGM によって患者に好影響が生じることは看護師の喜びであり、その喜びを患者や家族と共有することで看護師の満足感につながると考える。また看護師は BGM の実施にあたり、患者の身体的、心理的状态や ICU の状況を考慮した適切な方法を選択しており、それが患者の好影響につながると感じていることがうかがわれた。さらに看護師は BGM を ICU 全体に加え患者へ個別に実施することで、よりその効果を実感していることが見出された。

看護師は BGM がもたらす自身への好影響や不快ではない感覚を感じていたが、これは音楽が身近な存在であることや BGM のもつ心理作用が関連していると考えられる。しかし看護師は、仕事に集中しているときや緊張感の高い状況におかれているときは BGM を傾聴しておらず、BGM に意識を向けていないことが明らかとなった。これは生命の危機にある患者が入院している ICU の特徴が関連していると考えられる。また看護師は BGM のような些細な支援であつても患者に肯定的な影響が生じることを期待しており、患者の回復や安寧につながる看護を実践したいという看護師の思いがうかがわれた。

看護師は BGM による患者の反応が家族に希望をもたらし、それが家族の心理的な支えになると実感していた。加えて BGM によって家族と看護師間のやりとりが促されることから、患者のことを知り、回復を支えたいという家族のニーズの充足につながると考える。しかし危機に陥った家族にとっては BGM が不快感につながることもあるため、実施方法の十分な検討が重要であるといえる。

【結論】

1. 看護師は BGM による患者への影響を実感し、さらに患者に好影響が生じることを期待していること示された。
2. 看護師に生じている患者に対する BGM の効果への葛藤は、ICU に入室している患者の身体的状態の特徴が関連していることが示唆された。
3. 看護師は自身に対する BGM の好影響を感じている一方、仕事に集中しているときや緊張感の高いときは BGM に意識を向けていないことが明らかとなった。
4. 患者への好影響がもたらす患者、家族、看護師間の喜びの共有は、看護師の満足感につながっていた。
5. BGM の実施によって家族がもつニーズの充足につながる可能性が示唆された。

キーワード（5 個以内）：

ICU、BGM、看護師の実感、ストレス、リラクゼーション

【Purpose】

In intensive care units (ICUs), both patients and nurses feel significantly stressed, because the conditions markedly differ from those of daily living environments. Background music (BGM) is

played in the ICUs of some health care institutions to help patients feel relaxed or for other purposes. However, there have been few studies on nurses' awareness of the effects of BGM. The present study was conducted to examine the effects of BGM on: (1) patients as viewed by nurses, and (2) nurses themselves.

[Design]

This was a qualitative and descriptive study. Between July and September 2014, semi-structured interviews with ten nurses working in ICUs in which BGM is usually played were conducted using an interview guide. In the interviews, the nurses were asked about the situations that require and do not require BGM as viewed by them, and its effects on patients, their families, and the nurses themselves. The verbatim data were divided on the basis of semantic content, and were classified on the basis of semantic similarity into categories and subcategories.

[Study results and discussion]

Whereas the effects of BGM on patients as viewed by nurses were classified into the following two categories: [Positive effects of BGM on patients] and [Conflict regarding the effects of BGM on patient], the effects on nurses were classified into the following four categories: [Positive effects of BGM, played for patients, on nurses], [BGM that does not provide a sense of discomfort], [BGM that does not annoy patients and nurses], and [Expectation of the effects of BGM based on the responses of patients]. The effects of BGM on the families of patients were classified into the following three categories: [Hope brought to family members by the responses of patients to BGM], [A sense of discomfort with BGM felt by family members], and [Communication between family members and nurses facilitated by BGM]. In addition to the above-mentioned categories, [Communication between patients and nurses facilitated by BGM] and [Methods for playing BGM] were also extracted.

The nurses observed the responses of patients while BGM was being played, and suggested its effects of alleviating stress, stimulating the brain, and helping patients resume their normal lives and maintain regular hours. The nurses were delighted when BGM had positive effects on patients, and felt satisfied by sharing that sense of delight with the patients and their families. The nurses selected appropriate methods to play BGM while taking into consideration the physical and psychological conditions of patients as well as the situation of the ICU, because the nurses expected them to have positive influences on the patients. Furthermore, the nurses recognized that BGM selected for individual patients was more effective than that played for an ICU.

The nurses also recognized the positive effects of BGM on themselves, and some felt comfortable when it was being played, presumably because they listen to music in their

daily lives and BGM has psychological effects on people. However, the nurses did not listen to BGM or enjoy listening to it when they concentrated on their work or the atmosphere in the ICU was tense. This was presumably because critically-ill patients are often hospitalized in ICUs. The nurses, who had been providing patients with nursing care to facilitate their recovery and bring peace of mind to them, expected BGM to have positive effects on patients, however small they may be.

The nurses recognized that patients' responses to BGM brought hope to their families as psychological support for them. Furthermore, since BGM facilitates communication between family members and nurses, it also serves to fulfill the needs of the families of patients by helping them obtain information on patients and provide support for recovery. However, it is important to carefully discuss methods for playing it, because, when patients are in a critical condition, BGM may annoy their families.

【Conclusion】

1. The nurses recognized that BGM influenced patients, and expected it to have positive effects on them.
2. The data suggested that the conflict occurring among nurses regarding the effects of BGM on patients correlates with the physical condition of patients in the ICU.
3. Whereas the nurses also recognized that BGM had positive effects on them, their attention to it was dependent on the situation in the ICU.
4. The nurses felt a sense of satisfaction when BGM had positive effects on patients, and the delight was shared by the patients, their families, and nurses.
5. The results suggest that playing BMG may fulfill the needs of the families of patients.

Key words : ICU, BGM, feeling of nurses, stress, relaxation

- 1 論文内容の要旨は、研究目的・研究方法・研究結果・考察・結論等とし、簡潔に日本語で 1,500 字程度に要約すること。併せて英語要旨も日本語要旨と同様に作成すること。
- 2 2枚目からも外枠だけは必ず付けること。

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	第 87 号	氏名	合田 恵理香
論文審査担当者	主査 教授 城丸 瑞恵 副主査 教授 吉野 淳一 副主査 教授 池田 望		
論文題名			
<p style="text-align: center;">ICU における BGM の患者・看護師への影響に対する看護師の実感 Feelings of nurses related to the effects of BGM on patients and nurses in the ICU</p> <p>Intensive care unit (以下 ICU とする) は日常とかけ離れた環境であるため患者や看護師のストレスが大きく、施設によってはリラクセーションなどを目的に ICU 内で BGM を実施しているが、効果に対する研究は十分ではない。そこで本研究では①看護師からみた患者に対する BGM の影響、②看護師が BGM を流すことで感じた自身への影響、について明らかにすることを目的として、日常的に BGM を実施している ICU に勤務する看護師 10 名に対し、インタビューガイドを用いて半構造化面接を行った。その結果、看護師からみた患者への BGM の影響として【看護師からみた患者に対する BGM の好影響】【患者に対する BGM の効果への葛藤】の 2 カテゴリー、看護師への BGM の影響として【患者への BGM が看護師に及ぼす好影響】【BGM に対する不快ではない感覚】【BGM の存在に対する気にならなさ】【患者の反応から芽生える BGM の効果への期待】の 4 カテゴリーが抽出された。また家族への BGM の影響として【BGM による患者の反応がもたらす家族の希望】【家族が感じる BGM への不快感】【BGM によって引き出される家族-看護師間のやりとり】の 3 カテゴリーが抽出された。これらの結果から看護師は BGM による患者への影響を実感し、さらに患者に好影響が生じることを期待していることが見いだされた。さらに、患者への好影響について患者と家族そして看護師の間で共有することが看護師の満足感につながることも示された。一方、看護師は仕事に集中しているときや緊張感の高いときは BGM に意識を向けていないことや、患者に対する BGM の効果に対して葛藤を抱いていることが明らかとなり、実施方法に対する工夫の必要性が示された。</p> <p>以上より本研究は、ICU における BGM の実施が患者・家族・看護師にもたらす影響について看護師の視点から探索的に明らかにした。審査委員会ではこの研究成果及び質疑応答をふまえて修士(看護学)の学位論文として適切であると判断した。</p>			

※報告番号につきましては、事務局が記入します。